

1



2



3



4

背景

昭和46年に豚肉の輸入自由化

- 豚肉価格が低迷
- 養豚農家の経営が先行き不透明
- 輸入豚肉から抗生物質残留摘発
- 消費者の食に対する安全意識の高まり

模索した結果 消費者が喜ぶ 豚肉づくり

わしらの経営はこれから先も大丈夫じゃるか

★小規模な家族経営農家が生き残る道＝銘柄豚
★販売までの一貫生産 ⇒6次産業化の始まり
★行政指導型産業育成

観音池ポーク

5

ネッカリッチ

木酢液 + 樹皮炭

樹皮炭化

下痢防止
悪臭低減

観音池ポーク

6

河城町観音池ポーク研究会研修実施実績表及び収支決算書

1. 研修の目的
本町産新産（観音池ポーク）産地に生産を促す中産子数増進の契機として昨年実施された河城町観音池ポーク研究会が研修を通じて販路開拓として全国的に著名な産地の学や産地別に研修している先進地を視察することにより産地の振興や生産の向上、また、本研究会の将来のビジョンを明確なことを目的とした。

2. 事業内容
(1) 事業実施主体 河城町観音池ポーク研究会（会長 上野隆 副会長 三木）
(2) 事業内容（視察地）
・広島県伊予郡新居町農協（伊予りんごモクモク）
・広島県大田郡尾道市 大田キートンセンター
・静岡県藤原市農協（おひがむアロマフェスタ）
・東京都府中グランド（小島忠行牧場）
(3) 事業費 37,000円
(4) 事業費 97,000円×8頭 = 881,000円（うち補助金 801,000円×8頭 = 6,408,000円）
(5) 実施期間 3月27日、28日、29日（3泊3日）

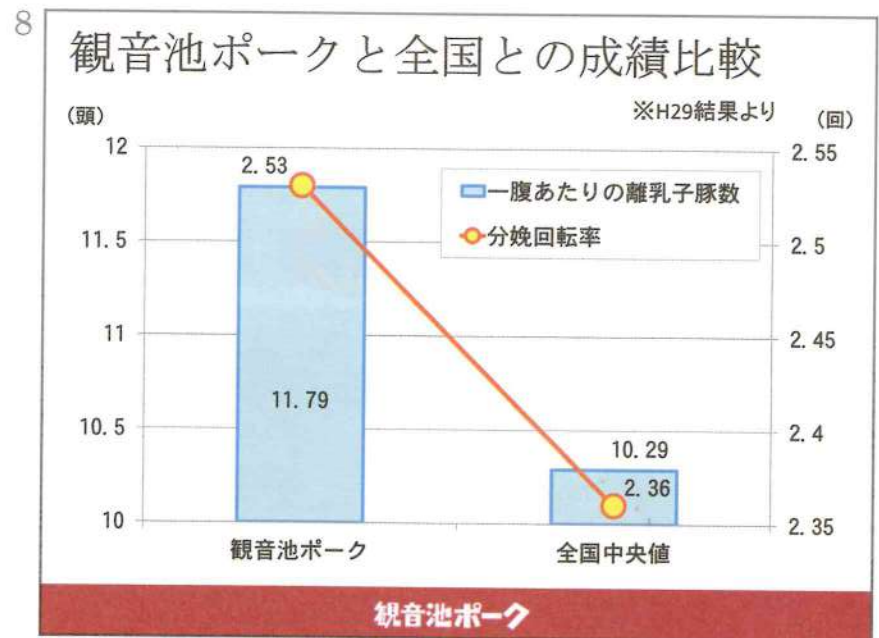
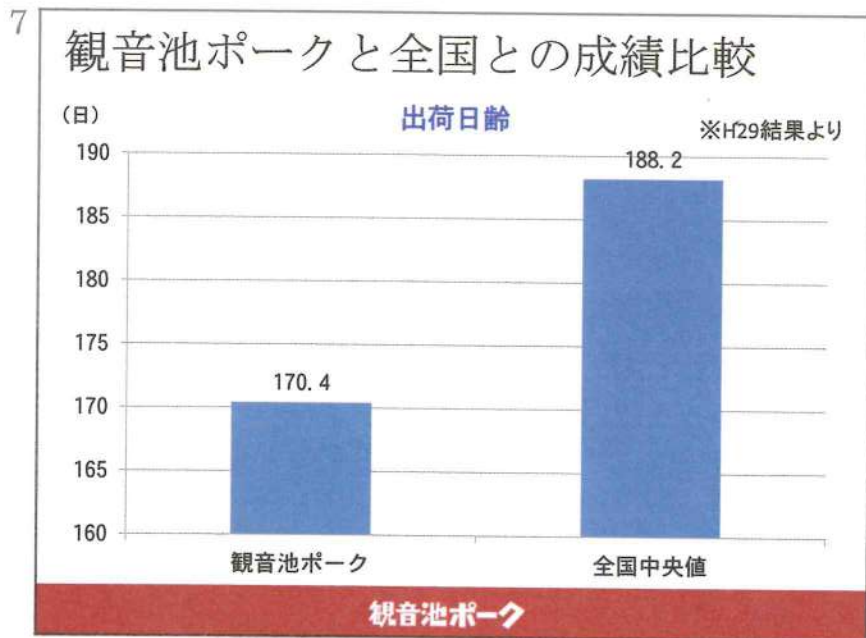
収支決算書

区分	本年度予算額	本年度決算額	収支差額		備考
			増	減	
事業実施費	750,000	440,000	310,000		
町補助金	750,000			750,000	
合計	1,500,000		310,000	750,000	

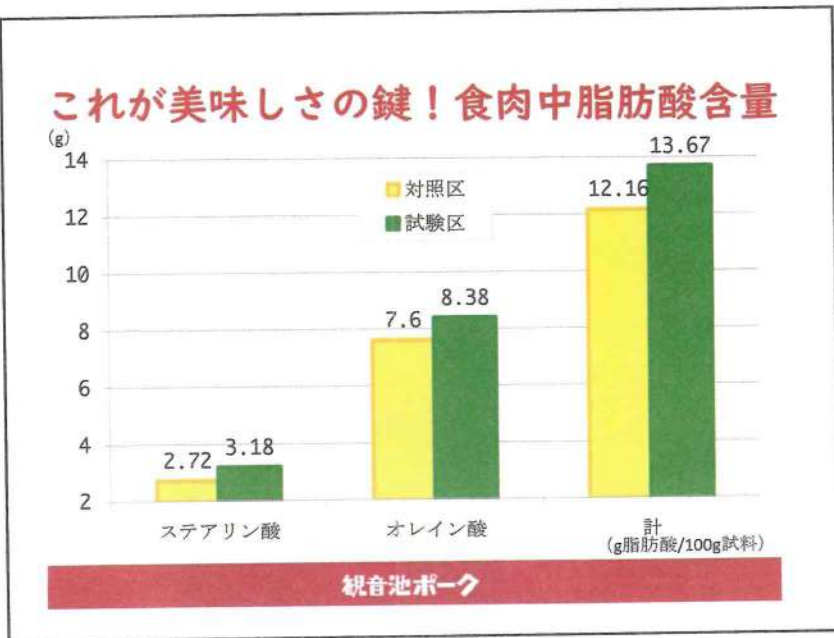
支出の内訳

区分	本年度予算額
河城町観音池ポーク研究会経費	1,500,000
合計	1,500,000

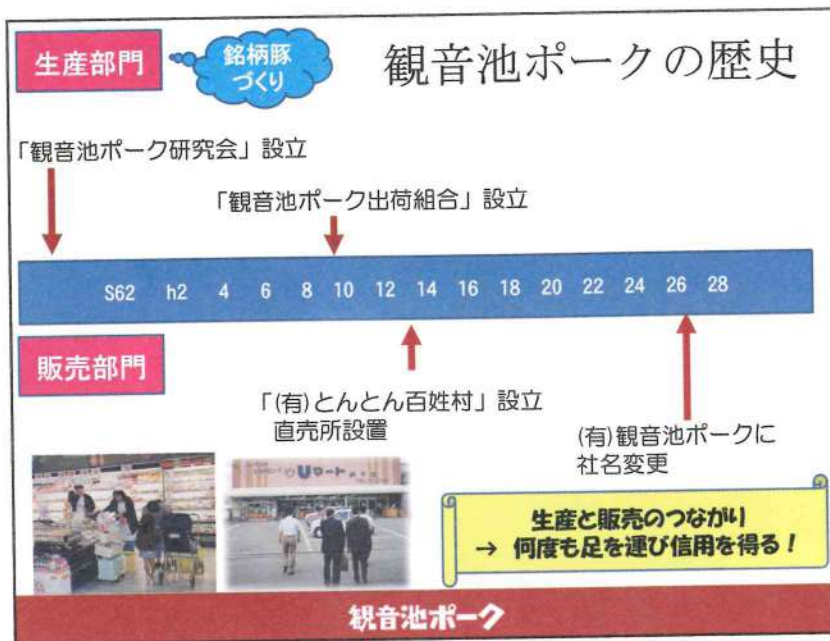
河城町 伊予りんごモクモク



9



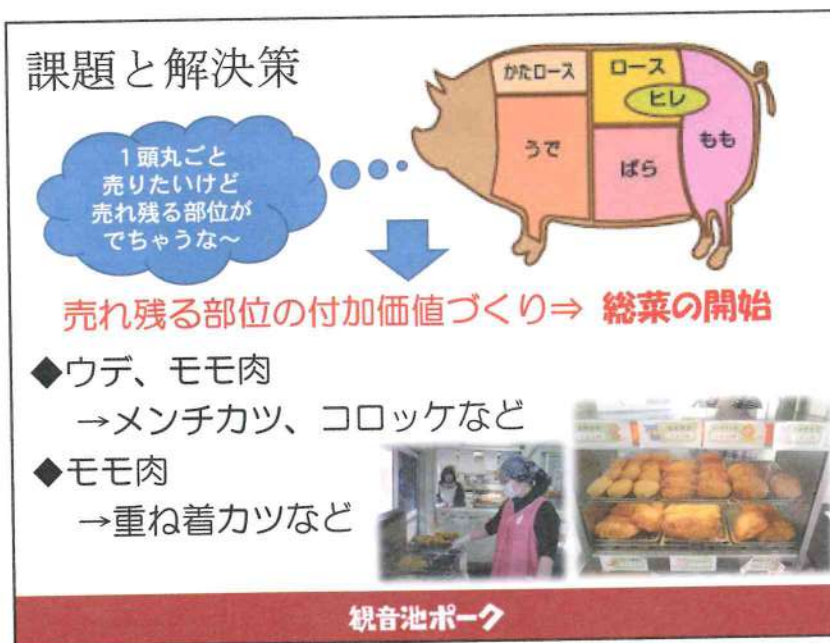
10



11



12



13

太陽ファーム

TAIYO FARM

お客様のニーズにあつた、新鮮で安全な野菜をお届けします。

設立	2003年12月1日
所在地	宮崎県都城市高木町6226-5
資本金	2000万円
代表者	代表取締役 牧田 信良

【有限会社 太陽ファーム】

宮崎県都城市高木町6226-5

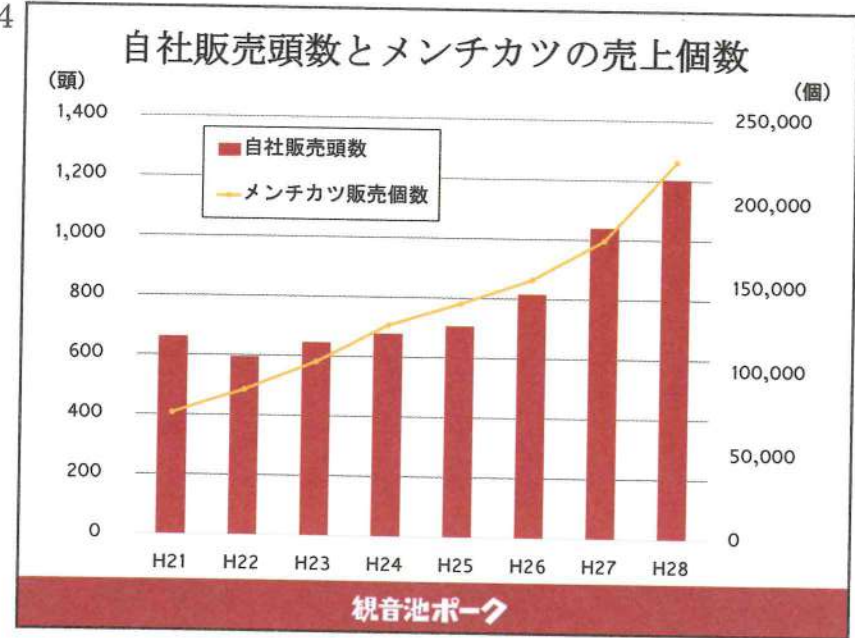
TEL : 0986-27-5400

FAX : 0986-27-5405

E-mail : taiyo-farm@fork.ocn.ne.jp



14



15



16



17



18

消費者への食味アンケート調査

1月13日
肉の日セール



140名を超える
お客様に
ご協力いただきました

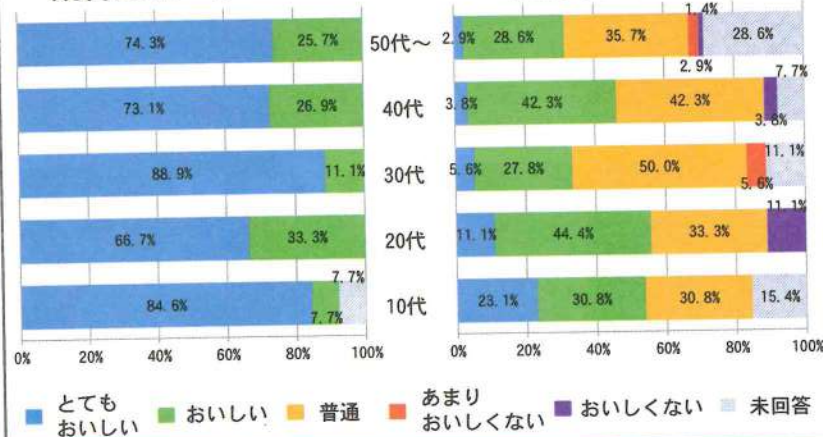
観音池ポーク

19

消費者への食味アンケート結果

観音池ポーク

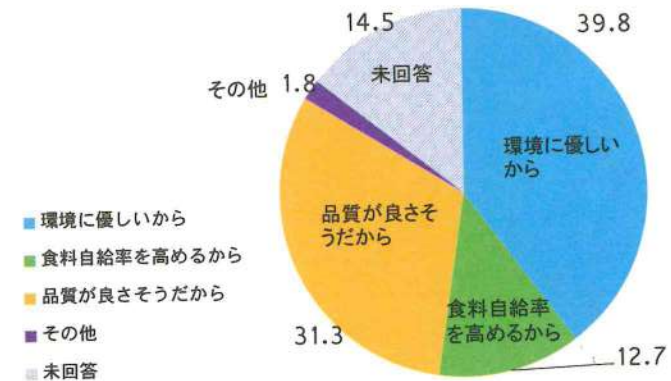
一般豚肉（都城産）



観音池ポーク

20

購入する理由は、「環境に優しいから」 「品質が良さそうだから」で約71%



21



22



23

将来への展望

- 地元耕種農家との連携による「循環型農業の推進」
- 食卓を楽しくする加工品の開発と販路拡大
- 製造施設の拡大による直販率の向上
- 県外市場への訴求と価格向上
- 市外客を呼び込む集客施設の設置

視音池ポーク